

授業科目名	幼児と人間関係		担当教員名	石村 万寿美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-領域に関する専門的事項 人間関係 / 保育内容の理解と方法	
必修-選択/単位数	必修 / 1単位 (15時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 前期 (1期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。 ※「保育内容の理解と方法」の指導内容を含む
授業の概要及び全体目標	幼児教育の目的と領域の関係性や環境を通しての教育、そして領域「人間関係」と他領域との関係を学ぶ。事例と理論を関係づけることから、幼児期における人とのかかわりの発達をみつめ、支え、広げ、深める保育者の役割について事例研究を通して学ぶ。 ※ICTの活用、協働学習を含む。			
到達目標	<p>(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。</p> <p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。</p> <p>②領域「人間関係」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</p> <p>④領域「人間関係」において幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>②領域「人間関係」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</p> <p>③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>⑤領域「人間関係」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p>			
テキスト	「事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係」岩立京子編 (明文書林)			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)			
成績評価の方法	○理解度・到達度チェック(筆記形式);40% ○課題(レポート、指導案等);20%、コメントシートの提出(毎回);20%、平常点(授業意欲、態度等);20%にて総合評価			
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習については毎回コメントシート(受講カード)を提出。 オフィスアワー 金曜日 14:30~15:30 (306・510研究室)			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	○オリエンテーション ①幼児教育の基本 ・幼稚園教育要領・保育所指針・幼保連携型認定こども園・保育要領における幼児教育の捉え方			(1)-①,(1)-④
第2回	①幼児教育の基本 ・幼児教育で育みたい資質・能力の明確化と、教育保育の改善・充実			(1)-①,(1)-②,(1)-③
第3回	①幼児教育の基本 ・カリキュラム・マネジメントの確立 ・幼児教育の目的と領域			(1)-④,(2)-②
第4回	①幼児教育の基本 ・保育者の様々な役割 ・領域「人間関係」と他領域との関係			(1)-③,(2)-②,(2)-⑤
第5回	②幼児期の発達と領域「人間関係」 ・親(保護者)との出会いと関わり ・乳幼児と保護者の出会いと関わり			(1)-②,(2)-⑤
第6回	②幼児期の発達と領域「人間関係」-事例研究を通して、子どもと保護者の関わりを理解 ・友だちとの出会いと関わり ・友だちとのぶつかり			(1)-②,(2)-⑤
第7回	②幼児期の発達と領域「人間関係」-事例研究を通して、子どもと保護者の関わりを理解			(1)-②,(2)-④
第8回	③子どもと保育者の関わり-事例研究を通して、保育者の多様な役割を理解 ・心の安全基地として子どもの人間関係を支える ○理解度・到達度チェック(筆記形式)			(1)-②,(2)-①,(2)-②